

第5回 黒部川流域懇談会 資料

◇議 事

- 1) 地域の方々からの意見について

平成21年4月24日

北陸地方整備局

1. 地域の方々からの意見聴取について

■ 目的:

河川整備計画(原案)に地域の方々からの意見を反映するため、意見聴取を実施

■ 案内方法:

- ・黒部河川事務所ホームページ
- ・記者発表

■ 聴取方法:

- ①インターネットによる意見募集
- ②閲覧コーナー設置による意見募集
- ③説明会による意見聴取
(朝日町、黒部市、入善町)

黒部川の整備に関する意見募集のお知らせ
～ 黒部川の未来について、一緒に考えてみませんか? ～

現在黒部川では、今後概ね30年間の具体的な河川整備の内容を定める「黒部川水系河川整備計画」の策定を進めています。これまでに関係地方公共団体の長、学識経験者等で構成される「黒部川流域懇談会」で議論して頂いた「素案」について、地域の皆様からご意見を頂きたく、下記のとおり意見募集を行います。

●**閲覧コーナー設置による意見募集【3月13日(金)～3月23日(月)】**
以下の場所で黒部川の河川整備計画(素案)をご覧頂けます。併せてご意見も受け付けています。
ただし、土日祝日を除く午前9時～午後17時迄

- 閲覧コーナー
国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所(黒部市天神新173)
- 問い合わせ先
黒部河川事務所 調査・品質確保課 調査第二係
調査・品質確保課直通電話 0765-52-4686

●**インターネットによる意見募集**
以下のホームページにアクセスして頂くと、黒部川河川整備計画(素案)をご覧いただけます。併せてご意見も受け付けています。

黒部河川事務所HP (<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>)

問い合わせ先

 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
副所長(技術) 鈴木 和弘(内線 204)
調査・品質確保課長 渡邊 正一(内線 351)
TEL: 0765-52-1122(代表)

記者発表(黒部河川事務所ホームページ)

2. インターネットによる意見募集

■実施時期:

平成21年3月13日～3月23日

■実施場所:

- ・黒部河川事務所ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>

■説明方法:

- ・河川整備計画(素案)および概要版の掲載
- ・河川整備計画(素案)について意見を募集

■案内方法:

- ・黒部河川事務所ホームページ及び記者発表

■意見・感想数:

- ・14件

The screenshot shows a web browser window displaying a form for submitting opinions on the Kurobe River Basin River Improvement Plan. The form includes fields for name, position, age, and gender, followed by a large text area for comments. There are '送信する' (Submit) and 'リセット' (Reset) buttons at the bottom of the form area.

The screenshot shows the homepage of the Kurobe River Basin River Improvement Plan. It features a navigation menu at the top, a main heading, and a list of links and information. A pink arrow points to a red circle around the text 'ご意見はこちらへ' (Click here for your opinion), which is a link to the submission form.

ご意見投稿フォーム

3. 閲覧コーナー設置による意見募集

■実施時期:

平成21年3月13日～3月23日

■実施場所:

黒部河川事務所(富山県黒部市天神新173)

黒部川出張所(富山県黒部市荻生大本7280-3)

■説明方法:

- ・河川整備計画(素案)と概要版の閲覧
- ・ご意見箱の設置

■案内方法:

- ・黒部河川事務所ホームページ及び記者発表



閲覧コーナー及びご意見箱の設置

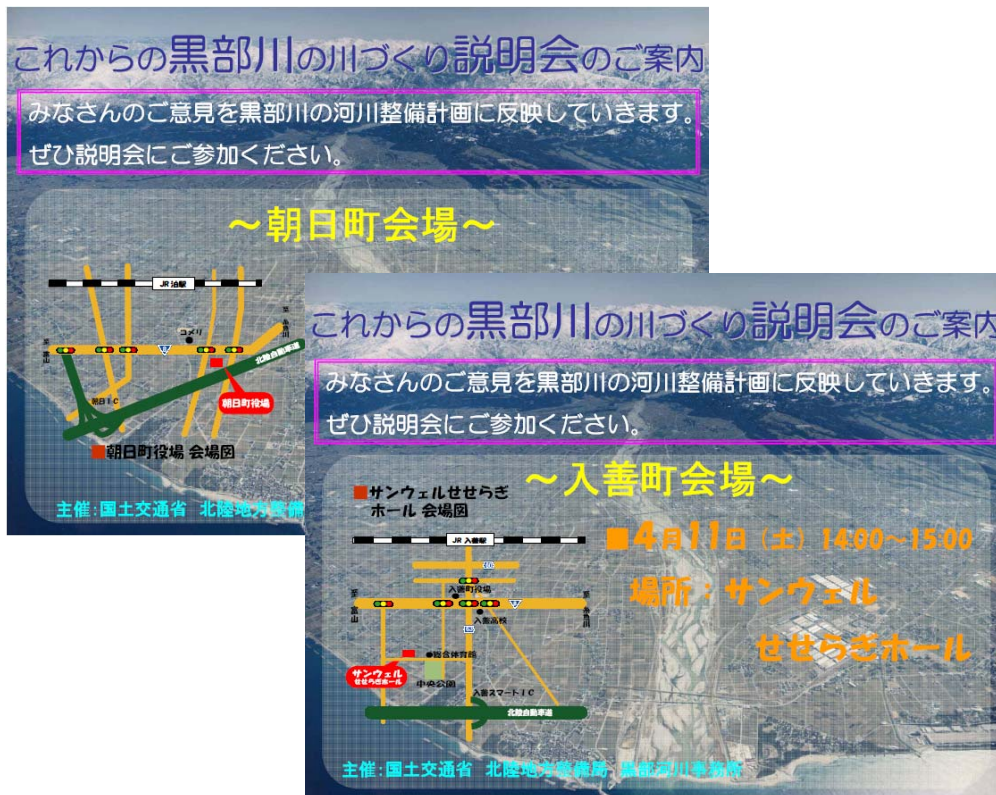
4-1. 説明会の開催

■ 日時・場所:

- ・朝日町: 平成21年4月9日(木) 14:00~15:00 朝日町役場
- ・黒部市: 平成21年4月11日(土) 10:00~11:00 黒部市民会館
- ・入善町: 平成21年4月11日(土) 14:00~15:00 サンウェルせせらぎホール

■ 案内方法:

- ・市町広報誌、折り込みチラシなど



折り込みチラシによる案内(朝日町, 入善町)



広報誌による案内(黒部市)

4-2. 説明会の様子

■説明方法:

- ・整備計画(素案)概要版の説明と
質疑応答形式

■参加人数:

- ・31名

■意見・感想数

- ・21件



朝日町役場



黒部市民会館



サンウェルせせらぎホール(入善町)

5. 地域の方々からの意見とその対応

■ 河川整備計画全般、その他について

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	地域住民の安全を守り、かつ河川環境に配慮した整備計画を実施して欲しい。 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画では30年間の全体的な整備についてとりまとめていますが、実際に河川改修などを行う際は、具体的な計画を提示し、河川環境に配慮し、地域の方々に理解していただくよう努めていきます。 ・整備計画は必要に応じて適宜、計画を見直していきます。 	—
2	テレビや新聞などでは悪いことしか言わないので、もっとPRされたほうが良いのでは？ 【インターネットによる意見】		—
3	整備計画素案は、地域住民には分かりづらい。 【インターネットによる意見】		—
4	5年に1度くらいは、整備計画について住民に説明して欲しい。 【説明会による意見】		—
5	対象期間は30年だが、もっと短期間で詳細計画を検討し、地域住民がわかるように広報活動をして欲しい。 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に河川事業の必要性について理解していただけるよう、わかりやすい説明・広報に努めていきたいと考えています。 	—
6	説明、質疑応答が1時間では、十分に地域住民の意見を聴取できないのではないかと。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会では時間的な制約がありましたが、次に説明会を行う際には、時間について長くするよう検討します。 	—

5. 地域の方々からの意見とその対応

■洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項(1)

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	手取川では1/100まで整備することになっているが、黒部川も最終目標の6,500m ³ /sまで整備して欲しい。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修は、計画的に実施する必要があります。 ・黒部川ではまず昭和44年8月規模の洪水に対して流下できるような河道改修(目標5,200m³/s)を行っていきます。 ・その後、段階的に将来の目標である6,500m³/sまで整備していきます。 	整備計画P.60, 61に記載済み
2	昭和44年の洪水を経験している年代の者として、堤防や護岸の整備を推進して欲しい。 【インターネットによる意見】		
3	災害が起きないように十分に河川整備をして欲しい。 【インターネットによる意見】		
4	集中豪雨でも、堤防決壊等の心配はないのか？ 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に発生した最も大きな集中豪雨である昭和44年8月洪水を流下させるために、5,200m³/sを目標に河川整備を実施していきます。 ・近年発生しているような短時間集中豪雨の場合、宇奈月ダムにより洪水調節されます。 	—

5. 地域の方々からの意見とその対応

■洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項(2)

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
5	昭和20年後半にタワーエクスカベータにより河道掘削を行っていたが、整備計画では河道掘削の必要ないのか。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の黒部川は河床が低下してきていますが、一部、土砂が堆積し流下能力が不足している箇所があります。 ・これらの箇所については、河床変動のモニタリングを実施し、必要に応じて河道掘削を行っていきます。 	整備計画P.67, 68に記載済み
6	堤防の高さ不足、幅不足の場所は左岸4箇所、右岸3箇所示されているが、いずれも何m不足しているのか示されていない。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画は今後30年間の整備の方向性を示すものです。 ・詳細な内容は、事業実施段階で提示します。 	—
7	霞堤について、開口部が狭く霞堤の効果が懸念されているので改修して欲しい。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・整備計画では5,200m³/sを目標に、急流河川対策や流下能力不足の解消を優先に河川改修を行います。その後、霞堤の改修を計画していきます。 	整備計画P.36, 37, 80, 86に記載済み
8	霞堤の断面が十分でないと思われるが、現在でも機能するのか。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和44年8月洪水等から現在の霞堤でも洪水被害軽減の効果を発揮することを確認していますので、霞堤の機能を維持するために、定期的に巡視・点検を実施していきます。 	

5. 地域の方々からの意見とその対応

■ 流水の適正な利用及び正常な機能の維持に関する事項

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	今後も、安定した水量が保たれていくのか？ 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部川では、生態系、景観、流水の清潔の保持等の観点から正常流量を概ね4.5m³/sとして設定しています。 ・過去のデータからみると、渇水時には正常流量をわずかに満たしていません。 ・当面は関係機関と調整しながら正常流量の確保に努めていきます。 	整備計画P.40, 41, 73に記載済み
2	地下水をいかに守るかが説明不足である。地下水位は近年低下し続けている。河川整備が地下水を下げている原因ではないか。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・過去のデータからみると、河川改修と地下水位低下の関係は明確ではありません。 ・河川改修を行うにあたっては、モニタリングを実施し地下水に配慮していきます。 	整備計画P.42, 43, 67に記載済み
3	板屋地区ではわき水が出ていたが、今はほとんど出ていない。カジカなどたくさんいたが、今では魚はほとんどいなくなった。堤防の際に水が流れるとわき水も出てくるのでは。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・五郎八地区のやすらぎ水路では、洪水時にのみ本川の伏流水を利用します。 ・したがって、やすらぎ水路に水を流すことと地下水位低下は、直接的な関係がないものと考えています。 ・引き続き地下水位のモニタリングを実施していきます。 	整備計画P.73に記載済み 整備計画P.47を修正
4	五郎八地区で、地下水をくみ上げやすらぎ水路に流すことを聞いているが、そのことが地下水位低下の原因にならないか。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・五郎八地区のやすらぎ水路では、洪水時にのみ本川の伏流水を利用します。 ・したがって、やすらぎ水路に水を流すことと地下水位低下は、直接的な関係がないものと考えています。 ・引き続き地下水位のモニタリングを実施していきます。 	整備計画P.73に記載済み 整備計画P.47を修正
5	急流河川が持つ流水のエネルギーを利用して、小型の発電所を計画できないか？ 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画は河川整備に関するものであり、発電計画については個別に対応していきます。 	—

5. 地域の方々からの意見とその対応

■河川環境の整備と保全に関する事項(1)

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	イワナ、トミヨ、サクラマス等の魚が棲む自然豊かな河川であって欲しい。 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・治水の安全度を確保するためには、河道掘削等の河川改修や樹木伐採等の維持管理が必要になります。 ・実施にあたっては、学識経験者等の意見を聴きながら、河道掘削については掘削方法や時期等に、樹木伐採については樹種等に配慮し、環境への影響の低減に努めます。 	<p>整備計画P.74に記載済み</p> <p>整備計画P.74に一部追加</p>
2	樹木伐採や瀬替えを行っているが、生物(環境)のことを考えていないではないか。 【説明会による意見】		
3	アキグミが減少しているのので、保護すべきである。 【説明会による意見】		
4	黒部川と言うと排砂問題をよく耳にするが、やすらぎ水路など川魚が避難できる場所があることを知った。 【インターネットによる意見】		
5	平成9年に河川法が改正され「治水」、「利水」に「環境」が追加されたが、環境のことを触れていない。環境のことを考えるには河川単独ではなく、山～川～海をつなげて考えなければならない。また、懇談会に海の魚類の有識者がいないのはおかしいのでは。 【説明会による意見】		

5. 地域の方々からの意見とその対応

■河川環境の整備と保全に関する事項(2)

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
6	五郎八のやすらぎ水路は、もう完成したのか。人々が集まるようにして欲しい。 【説明会による意見】	・今年度(平成21年度)に完成予定です。多くの方々に利用していただきたいと思っています。	整備計画P.47に記載済み
7	黒部奥山にイヌワシがいることを記述すべきである。 【説明会による意見】	・ご意見をいただき、精査をしましたので、整備計画本文に記述しました。	整備計画P.20に追加
8	水害が無いのであれば、高水敷に芝生の公園をもっと増やすことは可能か？ 【インターネットによる意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・水害の発生は今後も十分に予想されることから、本計画を策定しています。 ・みなさまにご意見をいただきながら、自然と触れ合える河川空間の創出を図っていきます。 	整備計画P.76に記載済み
9	緑が多く、自然と触れ合える施設ができればよい。 【インターネットによる意見】		

5. 地域の方々からの意見とその対応

■河川管理に関する事項

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	やすらぎ水路に砂が溜まっているが、対策など考えているのか。 【説明会による意見】	・本来の機能が発揮できるよう、今後も引き続き、巡視・点検により維持管理を行っていきます。	整備計画P.81に記載済み
2	水位の情報が愛本だけであるが、他の地点の水位もわかるようにしてほしい。 【説明会による意見】	・地域の方々に現在の水位がわかるように、今年(平成21年)から黒部川に架かる橋の橋脚に量水標を順次設置していく予定です。	整備計画P.86に追加
3	氾濫危険水位、避難判断水位、水防団待機水位とあるが、計画高水位との関係を教えてください。 【説明会による意見】	・計画高水位 \geq 氾濫危険水位 $>$ 避難判断水位 $>$ 氾濫注意水位 $>$ 水防団待機水位の関係にあります。	—
4	平成19年の増水で、河川敷が大きく侵食されている。また、下立地区では多くの根固エブロックが洗掘され流出した。これらは大きな損失と工事費増になるので、計画的に早め早めの改修が好ましいと感じた。 【説明会による意見】	・洪水時だけでなく平常時から巡視・点検により早期に護岸等の損傷を発見し、効率的な補修が行えるよう河川の維持管理に努めていきます。	整備計画P.80, 81に記載済み

5. 地域の方々からの意見とその対応

■土砂管理に関する事項

No	意見・感想	対応	整備計画への反映
1	土砂の堆積状況が変わってきており、樹林化もそれが原因だと思われる。連携排砂後に、川に溜まった細かい砂を流すためにダムから水を放流して欲しい。 【説明会による意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・連携排砂では、川に溜まった砂を流すために洪水の後半にダムから水を放流しています。 ・今後も、土砂の流れをできるだけ自然の流れに近づけるとともに、巨石を持ち出さないよう努めていきます。 	整備計画P.67, 74, 89, 90に記載済み
2	石の川から、砂の川に変わってきている。昔の自然の形にするような設計にして欲しい。 【説明会による意見】		
3	ダムによる土砂供給の必要性がわかった。 【インターネットによる意見】		